



学校だより

『わ』

岡山市立西大寺中学校 学校通信

発行日 令和6年1月12日

謹賀新年

本年もよろしく願いいたします。



2年生 西大寺中学生だっぴ



2年生は、12月9日に中学生だっぴを開催しました。中学生だっぴとは、中学生3～4人、大学生1～2人、地域の大人1～2人の計5～7人程度のグループを中学生の人数分つくり、生き方や働き方などについてテーマに沿って自由に話し合うNPO法人だっぴが実施しているキャリア教育プログラムです。地元や社会へ関心が高まり、未来を考えるキッカケになります。当日は、60名を超える大人と40名の大学生が参加して、トークテーマに沿って活発な話し合いが行われました。

大人の参加者の感想

- とても有意義な時間をすごせました！中学生が考えていること、逆におとなっぽかったです！また参加したいです！
- 中学生の「頑張ってる人は大人」という言葉に励まされました。自分もちゃんと頑張ってるなって思えました。
- 自分でも知らなかった自分の気持ちがわかり、驚いた。
- 年代も業種も異なる方と会話する機会は滅多にないため、非常に良い機会でした。人それぞれの価値観を知ることができ面白かったです。
- 中学生などの若い方の考えを聞け、また私の経験を話すこともできました。少しでも参考になれば嬉しいです。
- 色々な考え方があって、色々な世代が考えた事を、グループで話し合うって、ホント面白いです。難しいテーマがあり、みんな悩んでいる時間も、いい経験になりました。だっぴ！おもしろい！

中学生の感想

- いろいろな人と話すことで、自分には思いつかなかった意見を知ることができました。
- やっぱり生きている時間が長いと考え方も違うし、いろんなことを知っていると思った。
- 地域の人たちは優しいなと思った。
- 自分の将来の夢に対しての気持ちが強くなった。
- まとめて言うなら「とても楽しかった！」朝は面倒だな、嫌だな、うまく話せるかな、とネガティブでしたが、いざ来てみるとネガティブ思考を全部忘れて楽しむことができました。
- 『大人』ってもう少し難しいイメージがありましたが、話してみると意外と『一人の人間』と見ると、僕らと変わらないんだなって感じました。
- 人それぞれの回答があって面白く感じた。大人も一人の人間で子供と同じような考えを持っていることもあると感じた。
- ちゃんと話せるか不安だったけどグループのみんなが話をふってくれたから気軽に話すことができた。目の上の大人の人と話す機会があんななかったから最初は緊張したけど楽しく話し合いができた。
- それぞれの色々な考え方があって否定も正解も不正解もないのが意見を話すのに限ってとても気楽だったし、地域の方たちと話すことが新鮮で楽しかった。

3年生 出前授業 金融経済教育



租税教室



3年生は、キャリア教育の一環として2学期末に金融学習と租税教室を実施しました。

金融学習は、職場体験でもお世話になっている野村證券株式会社岡山支店の方を講師に、「自分の将来とお金の話」と題して、自分の将来像を描き、金融リテラシー（お金に関する知識や判断力、活用力）を高めることで夢を実現できるように、家計管理とライフプランニング、資産形成、投資（社会課題の解決につながる投資）について学習しました。

租税教室では税理士の方を講師に、納税の義務、なぜ税が必要なのか、税金の種類と分類、税金の使い道は誰が決めているか、公債、社会保障給付金などについて学習しました。

税金については、公民の授業でも学習しますが、正しい知識と理解をもち、その使い道についても関心をもつことが大切です。

2年生 心肺蘇生実習

2年生は、保健の授業で救命救急学習としてAEDを使って心肺蘇生の実習をしました。AED（Automated（自動）External（体外式）Defibrillator（除細動器）の略）は、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

目の前で突然人が倒れ心肺停止した場合、時間が経つにつれて助かる確率は少なくなるため、救急車（救急隊）が来るまでの一次救命措置として胸骨圧迫（心臓マッサージ）と早期のAED使用が人命を救えるかの鍵になります。

西大寺中学校では、職員室と第2グラウンドにAEDを置いています。



図書委員会 クリスマスギフト



図書委員会では、図書委員会からのクリスマスギフトと題して、冬休みの貸し出しに向けて題名を伏せて本の紹介文を貼った封筒に本を入れた貸し出しを行いました。貸出期間は、1月19日（金）までです。